

「FTA・TPPに関する国際フォーラム」の資料刊行

昨日から日米間でTPPの事前協議が始まりました。日本政府は、参加の場合、全品目が交渉の対象だと早くも前のめりの姿勢で説明し、米国政府は、業界の意向という形で「自動車、農産物、保険」の問題点を提起しました。筆者は、TPPが日本の経済に大きな打撃を与え、多くの国民の利益にならないことから、TPPへの加盟に反対ですが、参加する立場を認めても、足元を見られたスタートとなったようです。

協議が交渉事であることを考えれば、参加したいという意向が見え見えでは、相手側から譲歩を引き出すのは困難でしょう。参加にさして興味がなく、相手側の条件次第という姿勢で臨んで、譲歩も引き出せるものでしょう。買いたい気持ちを前面に出しては、良い値引きを獲得できないのと同じことです。

さて、昨年10月に開催された、ビア・カンペシーナと農民連の「FTA・TPPに関する国際フォーラム」の資料が、雑誌『農民No.65, 2012年2月号』に掲載されました。東南アジアの人々がどう考えているか、どういう問題を抱えているかを知る格好の資料ですので、紹介します。お求めは、農民連、電話03-3590-6759にどうぞ。

農 民 NO.65
2012.2

特集 FTA・TPPに関する国際フォーラム
国際的な連帯の力でTPP参加を阻止しよう 真嶋 良孝
フォーラム参加者の発言から
白石淳一(農民連)/ユン・グンスン(ビア・カンペシーナ)/キンコン・ナリンタラク(タイFTAウォッチ)/イ・チャンハン(韓国全国農国会総聯盟)/ムハンマド・イクワン(インドネシア農民組合)/新藤通弘(日本AALA)/ウタイ・サアトチョップ(タイ貧困者連合)

講演 農村から「原発ゼロ」の展望を切り開こう 和田 武
米先物取引5か月——思惑はずれ、取引は停滞 横山 昭三



農民運動全国連合会

特集 FTA・TPPに関する国際フォーラム

国際的な連帯の力でTPP参加を阻止しよう 真嶋良孝

フォーラム参加者の発言から

第一部 開会セッション

食糧主権をめざし、私たちの対案をつくりあげよう 白石淳一（農民連）

FTA・TPPに対するビア・カンペシーナの立場 ユン・グンスン（ビア・カンペシーナ）

第二部 FTA・TPPの現状と影響、各国の運動

タイにおけるFTAの影響と私たちのたたかい キンコン・ナリントラック（タイFTAウォッチ）

韓米FTAは韓国民衆の主権と生活を脅かす イ・チャンハン(韓国全国農民会総聯盟)

FTAは新植民地主義を拡大させる ムハンマド・イクワン(インドネシア農民組合)

第三部 私たちが求めるオルタナティブは何か、共同の行動をどう広げるか？

ラテンアメリカに学ぶもう一つの流れ 新藤通弘（日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会）

オルタナティブは自らつくり出すもの ウタイ・サアトチョップ（タイ貧困者連合）

ビア・カンペシーナがイニシアチブを イ・チャンハン(韓国全国農民会総聯盟)

地域でも世界でも、私たちの対案を示そう ムハンマド・イクワン(インドネシア農民組合)

ビア・カンペシーナ東南アジア共同声明

ETAとTPPは民衆を殺す!

もう一つのアジアの構築とETAに対抗するシステムチェンジを

(資料)アメリカ財界の要求

(2012年2月9日 新藤通弘)